

長期育休職員代替
正職員採用の方針
鶴岡市、制度創設へ
鶴岡市は31日、職員の方針

ワークライフバランスを巡って、育児休業を長期で取得する職員の代替に、正職員を採用する方針を示した。現状は会計年度任用職員を



イクボス宣言をする皆川治市長（前列中央）と市幹部職員
鶴岡市

採用して対応している。定期の採用を前倒して、定員

管理の中で調整を図るイメージ。制度創設に向けて具体的な検討を進める。

市職員課によると、毎年男女十数人が育休を取得。

このうち長期の休業取得者は3〜5人ほどで、新たな方針では、こうした休業者を正職員採用で補う。

市役所で同日開かれた「イクボス研修会」で、皆川治市長が示した。研修会では、仕事と生活の調和、休暇を取得しやすい職場環境づくりなどの推進を確認し、全幹部職員による「イクボス宣言」を行った。

（三浦光晴）